

受託法人 ウエオ		北	都島	福島	此花	中央	西	港	大正	天王寺	浪速	西淀川	淀川	東淀川	東成	生野	旭	城東	鶴見	阿倍野	住之江	住吉	東住吉	平野	西成	集約
(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進の取組状況について	1. 区民が必要とする切れ目のない在宅医療・介護のサービス提供体制のニーズ、あり方の検討	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	3	1	1	1	1	3	1	1. 21区 2.1区 3.2区 4.0区
	2. 主治医・副主治医制の導入・推進に向けた取組	1	1	4	1	1	4	4	1	4	1	1	3	4	1	3	4	1	1	4	1	1	4	4	4	1. 12区 2.0区 3.2区 4.10区
	3. 在宅療養中の利用者の急変時診療医療機関や後方病床の確保に向けた取組	1	1	1	1	1	1	4	1	3	1	1	4	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	4	3	1. 18区 2.1区 3.2区 4.3区
	4. 訪問診療・往診を提供する医療機関と訪問看護St.との連携体制構築への取組	1	1	1	1	1	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1	1	1	1	1	2	4	1	1. 19区 2.2区 3.1区 4.2区
	5. その他(ウ)に該当すると思われる取組 (具体的に記載)	<p>前年度からの活動の継続。区内病院の退院支援カンファレンスの参加。緩和ケア地域連携会議。買問2。北区医師会。在宅医療緊急連絡網で担当日に緊急連絡担当医が対応。大淀医師会。訪問診療に携わる医師同士で協力サポート。</p> <p>※1 ・歯科医師会と連携し、研修会の企画開催、歯科衛生士への在宅医療に関するアンケート調査用紙作成。 ・区役所保健師と訪問看護師との交流会 ・医師会と在宅介護支援事業所連絡会との合同研修会(3師会・訪問看護連絡会も参加) ・在宅介護支援事業所連絡会と訪問看護ステーション連絡会との合同研修会 ・各団体(職種)における医療介護連携課題と対応策に関するアンケート調査実施 ・東淀川チームACPIにおいて、専門職・地域住民へのACP普及啓発</p> <p>えむカフェ(医療と区民の垣根を「場」つくり)</p> <p>病院—在宅チーム間連携(福島区内ひびいん連携部会立ち上げ。「入退院支援」研修会開催。「在宅医療の立場から考える意思決定支援」講演会実施など)</p> <p>ICT(このはネット)加入者の増加。災害時を想定した医療・薬剤の備蓄についての提議を区役所・基幹病院と一丸となり取り組んでいる。</p> <p>中央区地域ケア研究会(平成23年度から毎年継続)は病院・施設を含めた医療介護従事者・行政、地域包括に加え当事者の参加も実現。行政、地域包括との連携強化により参加職種も増え、共に作る協働事業に深化。</p> <p>病院の勤務医・看護師を対象に「在宅医療のスズメ」という研修会を、区内4つの急性期病院と近隣区1つの急性期病院にて、区内の在宅医が講師となり行った。</p> <p>東成区病病・病診連携会の実施、東成区在宅介護支援事業所連絡会との交流会の実施</p> <p>※1</p> <p>主治医、副主治医制については、検討は終了しているが未実施の状態。</p> <p>入退院支援の研修会(病院関係者とケアマネジャー)や、療養中の医療・介護連携の研修会(医師・訪問看護師・ヘルパー・ケアマネジャー)を実施</p> <p>多職種ネットワーク会議で課題の把握と討議。退院支援に関する研修を実施。患者が確実に紹介医に戻るための働きかけ。訪問看護へ入退院支援における問題点の聞き取り調査。</p> <p>病病連携、病診連携</p> <p>病院と在宅医関係者による定期的な課題の検討と情報共有を行う</p> <p>R元年度より病院連絡会を定期的開催。</p>																								
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援の取組状況について	1. 医療・介護関係者間で共有すべき情報や情報共有のニーズ、共有方法の検討	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1. 23区 2.1区 3.0区 4.0区
	2. 現在使用されている情報共有ツールやその活用状況の確認	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	3	1	1	2	1	1	1	1. 20区 2.2区 3.2区 4.0区
	3. 地域で充実又は作成すべき情報共有ツールの検討	2	1	3	1	2	1	1	1	3	1	1	1	1	1	4	3	3	1	1	1	1	1	2	1	1. 16区 2.3区 3.4区 4.1区
	4. 情報共有ツールの導入や利用促進	3	2	1	1	2	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	3	1	2	1	2	1	2	1	1. 16区 2.5区 3.3区 4.0区
	5. 4で導入した情報共有ツールの活用状況や効果についての評価や改善	3	4	1	2	3	1	1	1	4	1	3	2	3	3	4	3	4	3	3	1	2	1	2	3	1. 7区 2.4区 3.9区 4.4区
	6. その他(エ)に該当すると思われる取組 (下欄に具体的に記載)	<p>入退院支援の手引き多職種研修会を複数回実施</p> <p>医療介護専門(SNS)メディアカルケアの普及を推進している</p> <p>在宅医療・介護連携相談シートの配布と利用状況の確認</p> <p>当区病院窓口一覽 情報掲載</p> <p>Aケアカードシステム</p> <p>介護支援専門員に対する退院支援研修</p> <p>・多職種連携シートの作成 ・H30年度に情報共有シートの評価は実施したがその後の評価は実施していないので活用状況について確認していく</p> <p>情報共有ツールは統一できていないが、個々が利用、活用されている</p> <p>区内のツールを望む声と同時に大阪府共通ツールを望む声も把握</p> <p>医療と介護それぞれの活用状況の把握</p> <p>連携シート及び連携についてのアンケート調査報告書を作成し、関係機関に配布した</p> <p>連携シートの活用状況のアンケートを研修会にて実施。</p>																								
(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援の取組状況について	1. 相談受付・支援する人材の育成(研修会の受講や実施)	1	1	1	1	1	1	1	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1. 22区 2.1区 3.1区 4.0区
	2. 相談員と区内の医療・介護関係者との関係構築(地域包括ケアに関連する会議への参加等)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1. 23区 2.1区 3.0区 4.0区
	3. その他(オ)に該当すると思われる取組 (具体的に記載)	<p>※2 地域包括、ランチ、見守り相談室、ケアマネジャー等からの困難事例も各部署と協働しながら支援している。 ・対象者にとらわれずに医療につながる必要があるケースについては関係機関と支援している。</p> <p>在宅リハビリ連絡会などの連絡会にオブザーバーとして参加</p> <p>大阪市の動向の把握・各区相談支援室間の交流・意見交換の場も必要と考えます。</p> <p>事例検討会・推しが集まる居場所づくり"ま"医療と介護の連携のための地域診断ワーキングを毎月開催</p> <p>研修会情報掲載した広報誌(ハーモニー)を作成し、医療介護関係者に配布している。</p> <p>在宅医療介護推進会議の参加、ヘルパー勉強会、各種委員会への参加。</p> <p>診療所医師よりセミナーでのサービス導入相談にて病院(退院支援看護師)と協働支援</p> <p>※2</p> <p>・地域ケア会議等に参加 ・各関係団体が開催する会議には積極的に参加し、情報共有や連携強化に取組んでいる。</p> <p>関係者と顔を合わせた時は、情報共有できる時間を作る。</p> <p>地域ケア会議、認知症支援会議で課題の把握、相談ケース振り返り会により相談ケースの課題、問題を医師会側も把握</p> <p>各団体の関係者に依頼し面談の上、それぞれ個人として医介連携に対しての困り事や課題の聞き取りを行った</p>																								